

安城ロータリークラブ



週報

【 No.584 2013/3 第 4 例会 】

例会日：毎週金曜日

例会場：碧海信用金庫本店 3F

安城市御幸本町 15-1

TEL：0566-75-8866

FAX：0566-74-5678

Email：anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP：<http://www.anjo-rc.org>

第 2725 回例会

2013 年 3 月 22 日(金) 12:30~13:30

司会者：加藤英明君

ソング：我らの生業

卓上花：ストック

ゲスト：三河安城クリニック 鈴木未宇様・井上由貴様

・近畿日本ツーリスト名古屋イベント・コンベンション支店 青木和人様

・大見芳枝様・沓名真裕美様・深津啓子様

ビジター：小林祥浩君(刈谷RC)

2012-2013 年度 RI テーマ

Peace Through Service 「奉仕を通じて 平和を」

クラブテーマ

親睦から奉仕へ。そして奉仕を通じて平和を。

■会長：大見 宏

■幹事：石川 義典

■クラブ会報：成田孝則・松本隆利・青山竜也

■創立日：S33 年 1 月 10 日

■RI 加盟認証日：S33 年 2 月 6 日



■会長挨拶

大見宏 会長

《会長あいさつ》

桜が早くも開花しまして、この分で行きますと、今週末か来週にかけて満開になる勢いですが、3月末から4月にかけていろいろな歓送迎会があると思えますが、4月に入ってから桜が満開になって、挨拶の中で桜が満開になったご挨拶をするのですが、今年は3月中の歓送会でそういう挨拶をしなければいけないか感じております。

今日は新世代奉仕委員会の担当で「RYLAセミナーの報告」をして頂きます。委員長宜しくお願い致します。



《会長報告》

平成25年3月15日 (株)東祥 東証2部上場

平成25年3月20日 丸山邸茶室訪問



《ロータリー豆知識 その⑨》

【ドナルド・カーター事件とは】

1905年2月23日 シカゴロータリークラブ誕生

創設時には「奉仕」という概念はなく、目的は、「親睦」と「互惠主義」のみ

1906年 会員のフレデリック・ツイードがドナルド・カーター（弁理士）に入会を勧誘

↓

ドナルド・カーターは入会を即座に拒否

「ロータリーに入っている君たちだけが互惠取引によって栄え、会員が親睦を深めみな幸せになってよいだろうが、1業種1会員制ということでロータリーに入れぬ人はどうなるのだ。地域社会に育てられお世話になり、何の恩返しもせずこの世を去るのはあまりにもエゴイズムに過ぎるのではないか。そのような組織は永続性があるとは思えない。だから、入会しない。」

～ポール・ハリスの決断～

1907年シカゴクラブの会長に就任したポール・ハリスはロータリーのあり方を転換する決断。

3つの方針

①シカゴクラブの会員増強

②他の都市に新クラブの設立

③地域社会への奉仕活動

・公衆トイレの設置運動

→百貨店組合、醸造組合の猛反対

→3年かかってようやく実現

・奉仕派と互惠・親睦派の対立

→ポール・ハリスとチェスリー・ペリーの電話会談

クラブの和を保つためには親睦が不可欠。

しかし、それは閉鎖的、排他的なエゴイズムにつながる落とし穴を抱える。拡大や奉仕理念があつて初めて組織が発展する。

→1911年奉仕派と互惠・親睦派の対立に終止符



《会長エレクト報告》 都築雅人会長エレクト

2013年～2014年度 会長エレクト研修セミナー(PETS)報告

◆ガバナーエレクト講話

～次年度RIテーマと地区方針について～

・RIテーマ ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

(ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を)

・RI会長強調事項

1. 会員増強の推進

2. ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実

3. ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化

・地区の重点事項 キャッチフレーズ ～磨いて 輝こう～

地区方針

・会員意識向上 : いつもRCを頭の中に。RCライフの充実を

・クラブのパワーアップ : 人道的奉仕活動や財団への協力を

・地区の改革 : 地区組織のスリム化(分科会を9から7へ減)

・会員増強 : とくに、若い人や女性の入会を



■ 幹事報告

石川義典君

・被災高校生支援事業に関し、心の交流事業として、奨学生それぞれに「この人たちが応援していますよ。」

というメッセージを送る為に、色紙と写真とメンバーの氏名を書いたものをお渡しいたします。

当クラブは、男子学生に送りますが、名前等はまだ連絡いただけません。決まり次第報告いたします。

本日と4/5(金)の2週の例会に渡り、皆様にメッセージを書いていただく為、色紙を回しますので記入ください。尚、58名おりますので、一人一言でお願いいたします。

- ・例会終了後に次年度理事会を会議室、創立55周年実行委員会を応接室にて行います。
- ・本日ファイヤーサイドミーティングを、18:00～一斗にて行います。
- ・地区大会記録誌が出来上がりましたので、本日配布いたします。
- ・来週29日例会は定款により休会です。事務局もお休みいたします。
- ・4/11(木)第4回安城RCゴルフコンペ組み合わせ表を配布いたします。登録料¥5,000お願いします。
- ・5/23(木)第13回安城RC・三河安城RC合同コンペを葵CCにて行います、ご参加ください。

■ 委員会報告

藤井英樹君

新世代奉仕委員長 藤井英樹君

只今から、RYLAセミナーの報告を行います。

先月23、24日伊良湖シーパーク&スパで、120名の若者が参加し、第21回RYLAセミナーが開催されました。

安城RC関係から4名、当クラブの奥嶋正衛君から、鈴木未宇さんと井上由貴さん。横山真喜男君から、横山新太郎君と久保田翼君が受講されました。



(RYLAセミナー修了証授与)

■ 出席報告

外山勝美君

会員	58名
出席義務者	47名
出席	37名
欠席	10名
出席免除者の出席	9名
出席率	82.45%
修正出席率	3月8日 第2723回 100%

■ ニコボックス報告

神谷明文君

本日のニコボックスメッセージの紹介



■新世代奉仕委員会(RYLAセミナー報告)

卓話担当: 新世代奉仕委員会委員長 藤井英樹君

卓話者: 鈴木未宇様・井上由貴様

テーマ: 「RYLAセミナー報告」

RYLAセミナーについて少し報告をさせていただきます。

RYLAとは、Rotary Youth Leadership Awardsの頭文字をとったものです。

日本名は、ロータリー青少年指導者養成プログラムであります。

・歴史、そもそもの始まりは…

1959年、オーストラリア クイーンランド州の自治権獲得100周年記念委員会にアレクサンドリア王女が臨席されたので、王女と同世代の青年達を招き、語らいの場所を作ろうという計画が持ち上がり、このホストをブリスベンRCが勤めました。この時の青年達の素晴らしい姿を継続できないものかと考え、これを青少年育成の場にしようとしたのが始まりと言われています。
⇒ロータリーにはこのような感動的な逸話が幾つもあり、これはその一つです。

・経過としては…

国際ロータリーが1971年に、地域社会の指導者として、また、善良な市民としての資質を伸ばすことを目的に、青少年指導者養成プログラムを立ち上げました。

1976年には日本でも始められ、愛知県では1993年岡崎市で第1回が開催されました。

以降毎年1回開かれ、今年で21回目となります。

・RYLAの大きな特徴として…

ロータリーファミリーを含め、ロータリーに関係のないところからも青少年を広く集めて、青少年とロータリアンが共に過ごし、指導力の養成と奉仕の精神を伝え、友愛を深めるところにあります。

⇒これから、ロータリーの精神を青少年に継承して行くとの、ロータリーの意気込みが感じ取れます。

・今年度の地区活動方針としては…

14歳～30歳までの青少年を対象に、指導者及び善良な市民としての資質を伸ばすことを目的とした活動を推進する。

・具体的には…

① 地区RYLAセミナーの開催

地区ガバナーが主管、地区RYLA委員会が主催、田原RCがホストで2/23、24日の二日間にわたり田原市で開催する。

・RYLAセミナーの達成目標は…（私なりに以下のように解釈してみました）

1. ロータリーの青少年への尊重や考慮を、身を以て示すこと。
2. 選ばれた青少年や、潜在性を有する将来の指導者に対して、効果的な研修を与えること。
3. 青少年による青少年の指導を奨励すること。
4. 地域社会に尽くしている青少年を公に表彰すること。

② 国際RYLAへ派遣

受講修了生の中から2名程、国際RYLAへ派遣する。

以上RYLAについて紹介させていただきました。

鈴木未宇さん、井上由貴さんRYLAセミナーの報告をお願い致します。





(ホストクラブ会長挨拶)



(開講式)



(第6分科会)



(グループワーク)



(グループワークの媒体作り)



(分科会の発表)

テーマ:「RYLAセミナー報告」

鈴木未宇様・井上由貴様



私たちは2日間にわたって伊良湖シーパーク&スパで開かれたRYLAセミナーに参加してきました。

院長に報告したら、「伊良湖ガーデンホテルだ」と言われましたが…

その報告を致します。

私たちは初めてこのセミナーに参加しましたが、ロータリークラブのメンバー・受講者数がとても多く、セミナーの規模の大きさに驚きました。

【開講式にて・基調講演】

まず、開講式でガバナーを始め色々な方々の挨拶や、歌を歌った後に、基調講演がありました。

基調講演講師として、尾川とも子氏を迎え、「ふれあい・思いやりの向こうに平和がある」というテーマでお話して頂きました。そこでは夢を持ちそして叶えるまでの経緯や、叶えた後に得られたものについてなど、今に至るまでを経験談とともに話して頂きました。時間は1時間半ほどありましたが、とても興味深い内容で圧倒されました。

尾川さんの、夢が大きく周囲の反対があっても決してブレない強い気持ち、また、叶えるために自分を売り込む行動力がとても印象的でした。

《第6分科会》

開講式の後に、各分科会に分かれました。私たちは第6分科会でした。

第6分科会は、大学生から社会人までのグループで年齢も職種も国籍もさまざまな人達が集まり、17人で構成されたグループでした。中には、すでにローターアクトクラブなどに参加している方々もいました。

まず自己紹介から始まり、話し合いをしていく上でのリーダー、サブリーダー、書記を決めました。

皆初対面なので、ここはジャンケンで決めました。グループの中でも、更に2人組・3人組に分かれて、リーダーを中心に与えられたテーマについて話し合いを行いました。

話し合いに行き詰ったり、方向がずれてしまったりすると、同席しているカウンセラー、アドバイザー、アシスタントリーダーなどからアドバイスを頂きました。

「グループワーク①」

グループワークでは、基調講演をもとに「夢を叶え、世の中の平和そして心の安らぎを得るためには自らがどのように行動すれば良いか」というテーマが与えられました。

あまりにもテーマが大きすぎるので、まずは細かく分けて「夢(目標)」について考えました。

具体的には、

1. 尾川とも子さんの講演で感動したところ。
2. 尾川さんの生き方について。
3. 自分にとっての夢とは。
4. 目標になる人物がいるか。
5. 思いやりの持てる仲間がいるか。

の5項目です。

「グループワーク②」

次に「平和」について考え、意見を出し合いました。

具体的には、

1. 世界の平和、日本の平和、あなたの街の平和はどのようなところから感じるか。
2. 自分の家庭での平和とは。
3. 心の安らぎ(平和)はどのような時に感じることができるか。
4. 自分にとっての安らぎとは。
5. 思いやりとは。

これらについて話し合いをした後に、元のテーマについて意見を出し合いました。

<媒体①>

そこで、出し合った意見の近い人々で集まり、自分達の考えを紙に起こし発表しました。

いくつかの発表から更に話し合いを重ねて、考えを1つにまとめました。

なかなか全員が納得のいく答えが出ず、かなり時間もかかり苦労しましたが、結果、夢は欲求であり、叶えるために努力をし、その過程で出会った人々から刺激を受け、その夢を叶えることによりその人々との出会いや経験に感謝する。

そして、その光景を見ていた周囲の人々にも夢を与え、またその人は夢を叶えようとする。つまり、1人の人が夢を叶えることによって、周囲にも影響を与え、更にその人々が多くの人々に夢を与えるというように、夢が波及してゆくと考えました。

結果、夢を叶えた人は心が豊かになり精神の安らぎを得ると考え、夢を持つ人が増えるということは、夢を与える人が増え、それらの相乗効果により豊かな社会・平和へと繋がって行くと考えました。

それを寸劇を交えた方法で発表することにしました。

<媒体②>

私たちの分科会では、大道具を作る班・小道具を作る班・原稿を起こす班の3グループに自然と分かれていきました。

夢を叶えること・心のやすらぎ・世の中の平和それぞれを個々でとらえず、夢を叶えると心のやすらぎは生まれ、心の安らぎが世の中の平和に繋がってゆく、つまり、この連鎖が続き、その輪が更に大きくなっていくと考え、その連鎖を三角形で表現しました。

<媒体③>

前頁の写真はその連鎖反応をあらわしている媒体です。そしてそのサイクルの中心には常に相手に対して愛があり、また、相手を信じるのが念頭にあるということを三角形の中心に2つの言葉をおいて表しました。

また、それぞれの過程で感謝や努力を繰り返し実現してゆくという考えのもと、言葉一つ一つにお面を作り、メンバーが1人1役を演じました。媒体の作成が終了したところで、1日目が終了し、気付いたら夜の10時でした。

その後に1日目の反省文の宿題をやり、急いでお風呂に入り、同じ分科会の7人でくっついて寝ました。

【清掃活動】

2日目は朝イチで海岸の清掃活動を行いました。

とても風が強く、目を開けていられませんでした。

【寸劇の養子】

その後、またグループワークに戻り、何度も発表の練習を繰り返し行い、寸劇が形になってきました。

リハーサルを行い、本番に挑みました。

【各分科会×2】

発表は高校生の第一分科会から始まり、「家族」や「平和」「夢」など様々なテーマでの発表がありました。

どのグループの発表もとても凝っており、この数時間で仕上げたとは思えない様な出来栄でした。

前に発表しているグループを見ると、私たちの発表テーマは、まるで各分科会のテーマが集合した様でした。